

内水ハザードマップ (浸水実績図)とは

雨水は下水道管(雨水管)による排水や地下浸透により排除されています。近年、雨が局地的に短時間で大量に降る「ゲリラ豪雨」が多く発生し、下水道管の排水能力を上回る降雨や都市化による地下浸透量の減少などにより、雨水を排水しきれない「内水氾濫」が発生しています。

三芳町では過去(平成25年以後)に浸水実績のあった箇所を元に、この内水ハザードマップを作成しました。浸水実績箇所、避難時危険箇所、避難場所、避難時の注意点や日頃の防災・浸水対策などについて記載していますので、もしもの時に備えて参考にしてください。

このマップは水防法に基づいていません。

◆内水氾濫とは 一時的に大量の降雨(いわゆるゲリラ豪雨など)が生じた場合に、下水道管その他の排水施設や河川などに雨水を排出できないことにより、地表面にあふれる水の事です。

三芳町役場 上下水道課

〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1047番地 1 電話：049-274-1014

令和8年3月発行

情報の入手

町民の皆さんは正確な気象情報や避難情報を入手して、指示がない場合でも、必要性を感じたら、自主的に避難してください。

テレビ・ラジオ テレビの地上デジタル放送dボタンを押すと、気象情報などを見ることができます。

防災行政無線 三芳町では防災行政無線で放送された内容を、電話で確認できるサービスを行っています。

三芳町地域コミュニティメール お仕事で町内にいない方や聴覚障がい者の方へも、行政情報を確実に伝える登録制の配信サービスです。

三芳町地域コミュニティメール 上記メールアドレスまたは右の二次元コードから空メールを送って、返信メールの指示にしたがって登録してください。

三芳町X(旧ツイッター) 災害情報やイベント情報など、町の情報をお伝えします。

エリアメール(NTTドコモ)・緊急速報メール(au、SoftBank、楽天モバイル) 気象庁や国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、携帯電話会社により町内に滞在する携帯電話に配信されるサービスです。

インターネット ◆気象庁 ホームページ ◆キキクル(危険度分布) ◆埼玉県 危機管理・災害情報サイト ◆国土交通省 川の防災情報(水位情報)

◆砂川堀雨水幹線水位監視システム ◆荒川上流河川事務所 ◆三芳町 ホームページ ◆防災・危機管理e-カレッジ ◆消防防災博物館

◆気象庁 ホームページ ◆キキクル(危険度分布) ◆埼玉県 危機管理・災害情報サイト ◆国土交通省 川の防災情報(水位情報)

◆砂川堀雨水幹線水位監視システム ◆荒川上流河川事務所 ◆三芳町 ホームページ ◆防災・危機管理e-カレッジ ◆消防防災博物館

◆気象庁 ホームページ ◆キキクル(危険度分布) ◆埼玉県 危機管理・災害情報サイト ◆国土交通省 川の防災情報(水位情報)

◆砂川堀雨水幹線水位監視システム ◆荒川上流河川事務所 ◆三芳町 ホームページ ◆防災・危機管理e-カレッジ ◆消防防災博物館

◆気象庁 ホームページ ◆キキクル(危険度分布) ◆埼玉県 危機管理・災害情報サイト ◆国土交通省 川の防災情報(水位情報)

◆砂川堀雨水幹線水位監視システム ◆荒川上流河川事務所 ◆三芳町 ホームページ ◆防災・危機管理e-カレッジ ◆消防防災博物館

◆気象庁 ホームページ ◆キキクル(危険度分布) ◆埼玉県 危機管理・災害情報サイト ◆国土交通省 川の防災情報(水位情報)

◆砂川堀雨水幹線水位監視システム ◆荒川上流河川事務所 ◆三芳町 ホームページ ◆防災・危機管理e-カレッジ ◆消防防災博物館

◆気象庁 ホームページ ◆キキクル(危険度分布) ◆埼玉県 危機管理・災害情報サイト ◆国土交通省 川の防災情報(水位情報)

◆砂川堀雨水幹線水位監視システム ◆荒川上流河川事務所 ◆三芳町 ホームページ ◆防災・危機管理e-カレッジ ◆消防防災博物館

◆気象庁 ホームページ ◆キキクル(危険度分布) ◆埼玉県 危機管理・災害情報サイト ◆国土交通省 川の防災情報(水位情報)

◆砂川堀雨水幹線水位監視システム ◆荒川上流河川事務所 ◆三芳町 ホームページ ◆防災・危機管理e-カレッジ ◆消防防災博物館

◆気象庁 ホームページ ◆キキクル(危険度分布) ◆埼玉県 危機管理・災害情報サイト ◆国土交通省 川の防災情報(水位情報)

気象情報・避難情報

三芳町より発表される情報と避難行動

三芳町では、国土交通省・埼玉県・気象庁が発表する情報、雨の降り方や河川の状況等から総合的に判断し、必要に応じて高齢者等避難、避難指示を発表します。町民の皆さんは指示に注意し、家族やご近所の方々と協力して安全な避難行動をしてください。

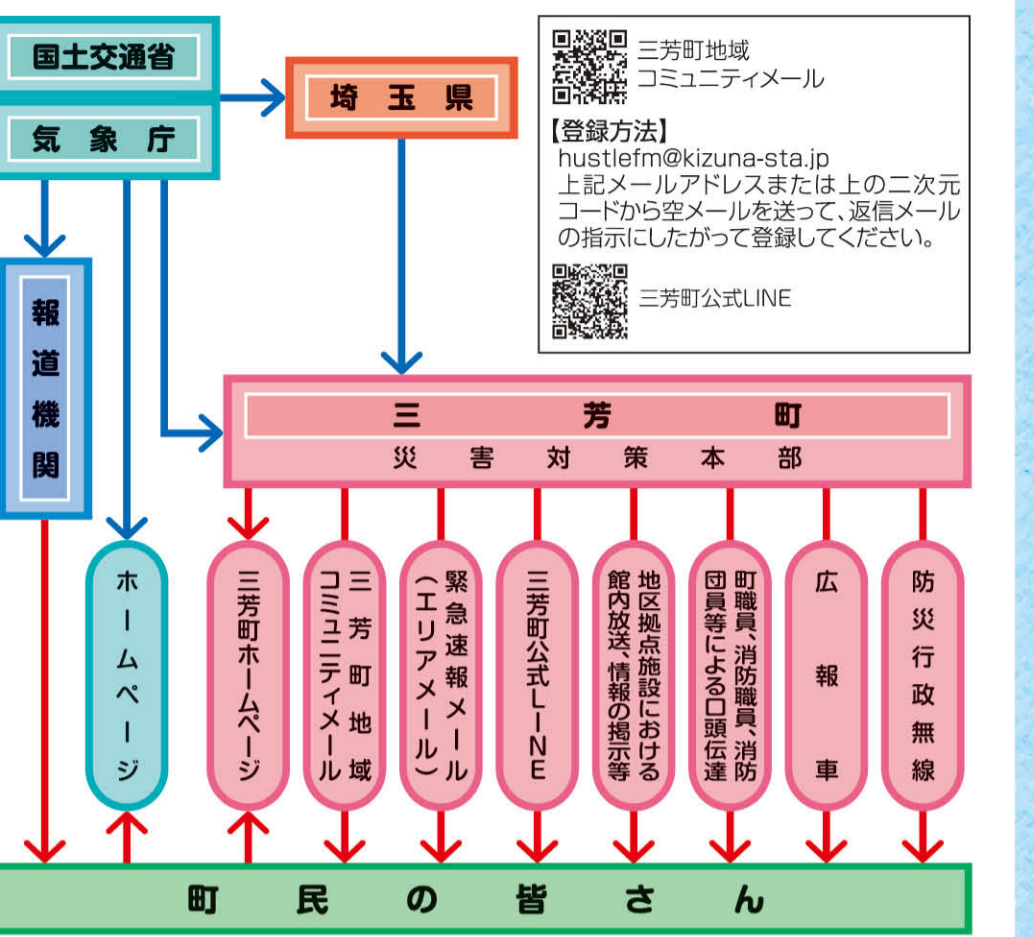
Table with columns for river flooding, heavy rain, typhoon, and evacuation types. It details alert levels (警戒レベル) from 5 to 1 and corresponding actions like 'Evacuation instructions' or 'High age group evacuation'.

雨の降り方と雨量の関係

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。

Table showing the relationship between rain intensity (e.g., heavy rain, strong rain) and potential damage to people, buildings, and vehicles.

情報の伝達経路



防災気象情報を利用して避難行動に役立てましょう

気象庁などから線状降水帯をはじめとした具体的な気象現象が発生した場合、自治体が発令する避難情報にも留意し、身の安全を確保してください。【例】気象防災速報(線状降水帯発生)、気象解説情報(線状降水帯半日前予測)

日頃の備え

わが家の点検・整備

- 1 アンテナや煙突を補強する。 2 瓦のずれなどを補修する。 3 雨どいを掃除する。 4 竿やベランダの小物を全て取り込む。 5 壊れた手すりや修繕する。 6 雨戸のないガラス窓は飛来物の破損から守る工夫をする。 7 古い雨戸は、筋交いをつけたり、つっかい棒をあてがったりして、応急の補強をする。 8 プロパンガスボンベを鎖でしっかり固定する。 9 家の周りにある風に飛ばされそうなものを取り込む。

家族みんなで備えましょう

- 家族会議を開きましょう。 避難時の家族一人ひとりの役割分担を決めましょう。 また、災害時に外出や交通機関の影響で、帰宅困難になる家族との連絡方法と最終的に落ち合える場所を決めましょう。

非常持ち出し品を準備しましょう(個別に用意するもの)

- 女性・妊婦・乳幼児: 生理用品、基礎化粧品、母子健康手帳、ガーゼ、ミルク(粉・液体)、離乳食、オムツ、おしりふきなど。 高齢者・持病のある方: 治療食・高齢者用食品、介護用品(吸水パッドなど)、入れ歯洗浄剤、補聴器用電池、アレルギー対応食品など。 その他の人: 眼鏡、コンタクトレンズ、ペット用品(ケージ、フード、トイレ用品)など。

非常持ち出し品を準備しましょう(皆さんが準備するもの)

- 飲料水・生活用水: 3日分の飲料水の備蓄(1人×3日×3リットル)、水筒(1人×1個)、生活用水の確保。 食品等: 3日分の食料の備蓄(主食、副食、缶詰、乾物等)。 医薬品等: 常用薬、救急用品、消毒薬、絆創膏。 感染症対策用品: マスク、手指消毒剤、体温計。 衣類・衛生用品: 着替え、タオル、ティッシュ、ウェットティッシュ。 停電への備え: 懐中電灯、ラジオ、充電器。 情報: スマートフォン、携帯電話、ポータブルラジオ。 燃料の備え: ガスボンベ、コンロ、ポンプ。 その他: アウトドア用品、防水布、ランプ、新聞紙、ガムテープ、ライター、マッチ、ローソク、ロープ、笛、マーカーペン、筆記具。

浸水時・避難時の注意点

- 正確な情報収集: 町役場や消防署から避難の呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。 ラジオ・テレビ・インターネットなどからも正しい最新の気象・災害・避難情報を収集しましょう。 お年寄りなどの避難に協力を: お年寄りや子ども、病気の人は、早めの避難が必要です。 近所のお年寄りや子ども、病気の人の避難に協力しましょう。 避難の呼びかけに注意しましょう: 洪水の危険が迫ったときには、町役場や消防署からの避難の呼びかけがあります。 指示に従って速やかに避難してください。 指示がなくても危険を感じたら自主的に避難しましょう。 家を出る前に確認しましょう: 避難する前に、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓をしめ、電話の受話器を元に戻しましょう。 親せきや知人にも避難する旨を連絡しておきましょう。 非常持ち出し品を忘れずに! 河川や橋に近づかない: 河川の様子を見ようとして、水位が増した河川や橋に近づくことは危険です。 水面下は危険です: 水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。 長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。 マンホールは危険: 大雨により外れたマンホールのふたに近寄ったり、道路に溜まった雨水を流すために、マンホールのふたや汚水まますを開けることは非常に危険です。 アンダーパスや周囲よりも低い土地に注意: 大雨が降ると、周囲より窪んで低くなっている道路は、水がたまって通行ができなくなります。 また、道路や鉄道の下をくぐるアンダーパスも、水がたまって危険となる場所です。 基本は立ち退き避難、次に緊急時の屋内安全確保: 風水害での避難行動では、災害が発生する前に危険性がある場所から避難する「立ち退き避難」が基本です。 しかし、「立ち退き避難」を行う余裕がない場合や、悪天候などにより外出することが危険な場合は、「屋内安全確保」でいのちと身体を守りましょう。

- 動きやすい服装、2人以上での避難: 避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。 サンドル等は禁物です。 動きやすい運動靴をはきましょう。 地域ぐるみで避難行動要支援者(災害時要援護者)を支援しましょう: 避難行動要支援者の方々、遠慮なく援助を申し出られるように、地域の皆さんは普段から動きかけましょう。 また、要支援者自身とその家族の方々も、地域との交流を保ち、いざというときの援助を依頼しておきましょう。 ◆高齢者や乳幼児など、手をつなく、背負うなどによりしっかり援助しましょう。 ◆言葉が通じない外国人には、声をかけ、身振り手振りを交えて誘導します。 ◆障がい者などの避難行動要支援者を把握し、地域の具体的な救援体制を定めておくことが重要です。 一人に対して複数の住民による支援が必要です。 ◆日ごろから避難行動要支援者が地域のどこに何人ぐらいいるのかを把握し、日常的にコミュニケーションを図っておくことが重要です。